

登録No. S-079
 登録名 Tri-PER/Weekly HER/Weekly PAC療法
 催吐性リスク 軽度
 適応疾患 乳癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ペルツズマブ 生食	初回840mg/body 2回目以降420mg/body 250mL/body		d1	d.i.v.	初回60minで忍容性良好であれば2回目以降30minまで短縮可	初回は投与後生食ロックし1時間経過観察。忍容性良好なら2回目以降30分まで短縮し経過観察。
Rp.1	トラスツズマブ 生食	初回4mg/kg 2回目以降2mg/kg 250mL/body		d1・d8・d15・d22	d.i.v.	初回90minで忍容性良好であれば2回目以降30minまで短縮可	初回は投与後生食ロックし1時間経過観察。忍容性良好なら2回目以降30分まで短縮し経過観察。
Rp.2	ファモチジン デキサメタゾン マレイン酸カルフェニラミン 生食	20mg/body 6.6mg/body 5mg/body 100mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	30min	
Rp.3	パクリタキセル 生食	80mg/m ² 250mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	60min	粘調度高いため、輸液総量の1.5倍量をDrip-eyeに設定

Tri-PER：3週間・Weekly HER/PAC：4週間

その他
 (副作用・PS規定等)

注意： Triweekly PERとweekly HER/PACはそれぞれ独立したレジメンとして投与されるので、投与日がずれます。
 多剤併用療法でPertuzumabとTrastuzumab以外の薬剤で副作用が起きた場合はPertuzumabとTrastuzumabの投与継続が望ましい。 Pertuzumab単剤の投与は不可。
 Pertuzumabが投与予定日より6週間以上空いた時は、改めて初回投与量の840mg/bodyで投与。

PACドーズダウン規定： WBC2500/mm³以下、好中球1000/mm³以下、Hb低下

HER中止基準： Grade3以上のアレルギー反応、アナフィラキシー反応、Infusion reaction

PAC副作用： 骨髄抑制、心毒性、神経毒性

PAC投与時： パクリタキセル投与前H2blocker、デキサメタゾン、マレイン酸クロルフェニラミン投与
 初回投与時は心電図モニターを用いる。M30 ラッパルカ-付きDEHPfreeの輸液セットを用いる。

HER原則禁忌（慎重投与）： 重篤な心障害のある患者

HER投与時：

infusion reactionが見られた場合は投与中止。

(再開時期について特に規定は無いが臨床症状をよくみて軽度なら継続投与可。)

infusion reaction時、解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、重症時はO₂投与、ステロイド